

大正九年十二月二十四日第三號開始發行（毎月一冊二十五日發行）
大正十四年四月二十四日印刷納本 大正十四年四月二十五日發行

May 1925.



Vol. V, No. 52.

第五卷

天界

第五十二號

大正十四年
五月號

寄贈

內容

繪口 スペイン會議に於ける山本教授夫妻

歸朝して..... 教授理學士 山本一清

大熊の星座..... 北米リク天文臺副臺長 R・G・エイトケン

通俗天文講座 天空の逍遙遊者..... 助教授理學士 荒木俊馬

恒星自轉の發見..... 教授 山本一清

天文界の雜報片信.....

西から東へ(その一)..... 岡山支部幹事 水野千里

海外日誌(二十六)..... 文部省在外研究員 山本一清

本年五月の天文現象..... 助教授理學士 上田穰

通信、報告、編輯日より其他.....

天文同好會規則 (大正十四年四月十八日改正)

第一條 此ノ會ヲ天文同好會ト云フ

第二條 此ノ會ハ天文學ノ了解ヲ進メ兼ネテ同好者相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

第三條 事務所ヲ京都市吉田町京都大學天文臺内ニ置ク、又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク事ガアル

第四條 此ノ會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ次ノ事業ヲ行フ

一、講演(例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)

二、講習(各地テ臨時ニ開ク)

三、雜誌圖書ノ出版(雜誌ハ月一回會員ニハ無代配布、圖書ハ隨時)

四、實地觀測(第一部啓發的、甲觀望、乙見學、第二部研究的、甲流星、乙變光星、丙彗星)

第五條 此ノ會ノ目的ニ賛同スル者ハ誰デモ會員ニナレル

但シ會費トシテ毎月金參拾錢ノ割テ、成ルベク半年分又ハ其ノ倍數ヅツナ前金ヲ納入スルコト

申込ノ際ハ住所職業生年ヲ記入セラレタヤ

第六條 一時壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ會員五十名以上ヲ紹介シタル者及總會ニテ特ニ推舉セラレタ者ヲ名譽會員トスル

第七條 此ノ會ノ幹部ハ次ノ通り

幹事 三名 會計 一名

此ノ幹部ハ總會テ選舉セラレル者テ任期ハ一ケ年

第八條 此ノ會ニ評議員若干名ヲ置キ、幹部ノ相談相手トナル

第九條 幹部ハ會員ノ中カラ次ノ係リヲ指名推舉スル

講演係一名、編輯係三名、觀測係一名、寫真係一名

Contents of THE HEAVENS No. 52.....Edited by Issei Yamamoto.

Prof. and Mrs. I. Yamamoto in Spanish Conference (Frontispiece)

Issei Yamamoto : From My Travel Abroad.....133

R. G. Aitken : The Constellation Ursa Major.....137

T. Araki: The Wandering Stars in the Heaven.....144

Issei Yamamoto: Discovery of Stellar Rotation.....148

Ch. Mizuno : From West to East.....155

Issei Yamamoto : My Diary Abroad (26).....159

Y. Ueta: Heavenly Phenomena in May, 1925.....163

Notes.....Reports.....Letters.

Published by the Society of Astronomical Friends,
Kyoto University Observatory.
(P. O. Box: Shogoin No. 11.)

妻夫授教本山るけに議會ンイペス



Prof. & Mrs. Issei Yamamoto in Spanish Conference, October 1924.

天文同好會 第五回總會(報告)

報告の如く、同好會の第五回總會が去る四月十八日(土曜)午後二時から京都帝國大學々生集會所樓上で開かれた。今年始めての好日和で、空もよく晴れ、氣温も上々であつたので、京都在住の人々のみならず、大阪、神戸鳥取、岡山、名古屋あたりからも會員が出席せられた。

まづ、二時過ぎから、荒木幹事を座長として、講演會が開かれ、山本教授が約二時間にわたつて「歐米天文視察談」を話された。大體は本號の「歸朝して」と同様な筋ではあるが、何ともしも慙うした見聞談は、文で讀むよりも耳に聽く方が印象的であるし、又、二時間さいふ時間ばかり長かつたため、話頭は色んな方面にもわたつた。

講演後、直ちに總會議事に入り、先づ、荒木氏より事務及び會計の報告あり。二三質問のち承認。次いで山本氏の提案により評議員設置に關する會則改正を議し、又、荒木氏は幹事増員の件を發案し、討議の結果、會則は別頁記載の如く改正された。津田氏から會長制度について發案があつたけれど、これは多數の意見により、來年まで延期せらる。最後に、水野氏より、前幹部海老氏に感謝狀を贈ることを建議せられ、満場一致を以つて別頁所載の感謝文を決議した。又、衆議により新年度の幹部は、選舉の煩を省き、其の選定を舊幹部に一任することとした。

總會後、有志の者二十餘名は別室に於いて晚餐會を催し、九時頃まで談笑。其の後には三々五々大學天文臺に行き、上田助教の指導によりリード彗星を觀望した。

ハガキだより

山本一清様
も早、京都へ御着のこと、存じます。別便にて「スター・マップ」といふ印刷物を御送りしました。これはシラキウス大學の天文學會の會員の K. Heber 教授(ドイツ文學の)が作つたものです。此の人は日本の天文同好會と出版物を交換したいとのことで、數ヶ月前に同大學にゐる友人から大兄あて右の旨を通ずるやう依頼されてゐたのですが、日本への御歸りを待つてゐて今日になりました、ごうか適當に御所分願ひます。何か同好會の英文出版物を同氏あてに御送下さい。同氏の所は右の印刷物に明記してあります。小生も(中略)四月十五日にニウヨークをペンゲンゲリア號で出て、八月末か九月第一週に神戸へ歸ります。再び御拜眉の時を樂しみにしてゐます。御夫

人によるしく。

——一九二五、三、二四。

ヨシダ・ゲンジロー

○會計報告(大正十三年度)

収 入		支 出	
會費收入	二、一八五、八四〇	備品費	二一、二三〇
出版物賣上高	八一、二七一〇	消耗費	六七、八四〇
觀測部費收入	二三、〇〇〇	雜誌印刷費	二、三三四、六七〇
廣告料	一八二、九一〇	出版費	二、九七、八六五
寄附金	二五〇、〇〇〇	原稿料	三九〇、〇〇〇
繰越金	六三九、一八〇	事務費	五八三、〇〇〇
計	四〇九三、六四〇	計	三、六九四、六〇五
		差引(十二月末現在)	三九九、〇三五

會から會員たちに

○新幹部

が左の如く決定されました。

幹事 山本 一清氏

同 上田 穰氏

同 荒木 俊馬氏

會計 小林忠次郎氏

尚、別頁の通り、總會で評議員といふ制度が新たに設けられましたが、其の撰定については次號に發表されることと思ひます。

○例会日そのほか

京都大學天文臺の新築落成を期とし、今後は毎週月曜日の夜晴れてさへ居れば、常に此の天文臺が一般社會の人々のために公開されることになり。但し之れは本年五月以後です。それで我が同好會の毎月の例会も、成るべくは此の月曜日に開き、天文臺公開の好機を充分に利用したいと思ひます。

○名古屋支部の計畫

が略々決定しました。来る五月九日と十日と兩日、本部から山本氏と荒木氏が招かれて行き、名古屋で數回の天文講演會が開かれます。總ての世話は同地の支部幹事濱野氏がせられます。愛知岐阜兩縣下の會員たちは之れに御出席下さるやう希望します。

○三年前と比べて

會員に可なり出入りがあり、總數は少々減じて、今は一千名

の域を出たり入つたりして居ますが、會の財政上から考へても、本會は是非二千名の會員を得なければ安心とは言へません。新會員募集のため、現在會員たちの御援助を願ひます。

○會員の密集地

としては、今は、京都、大阪、神戸、岡山、東京などです。何れも百名以上の會員があります。希望としては、大阪や東京に三つ四つの支部を置きたい事です。殊に東京の會員たちの奮起を願ひます。

○海を越えて

上海には近い將來に同好會の支部が設けられる筈であります。そして、多分はカリフォルニアにも。

○天文の趣味

が近頃は非常に廣く認められるやうになりました。いろんな新聞や雑誌が天文記事を歓迎するやうになり、又小さな小供たちも天文の話を聞くやうになりました。喜ぶべきことです。——しかし又、一方に於いて、眞實らしく見せて、非常な大まかがひの天文記事が時々見つかります。我が天界誌上に於いては、今後、かうした天文記事には一々批評を加へ、一般社會の人々が無益に迷はされないやうにしたいと思ひます。會員の中に、新聞や雑誌を讀んで天文記事を見られた場合には其れを切りぬいて本會の本部に送つて頂きたいと思ひます。編輯部では其の批評を次號の天界に發表させようから。

○岡山支部三月通信

三四

一、天文講話會 兵庫縣赤穂郡相生小學校で一日午前九時から、前日に引續いて講話會

が催され、水野幹事は「星の話」の解説をなし、太陽黒點の觀測を指導した。

二、天文幻燈會 四日午前九時から、關西中學校第五學年生の爲めに、同校で天文幻燈會を催し、水野幹事は一々説明した。

三、天界研究會 十四日午後七時から、水野幹事宅で開催した。

四、水野幹事の本部訪問 二十五日山口支部に野垣幹事を訪ね、二十六日は鳥取に會員大坪雄太郎氏と快談し、二十七日には山本教授に久々で面會、京都天文臺ではリード氏發見の新彗星を觀測し、二十八日再び天文臺に上田助教授と會見し、二十九日は福知山に土屋中佐を訪問して天を談じ、三十日は加古川驛に神助役と天を語り、同夜半歸岡された。

會告

○五月例會、來る五月十一日(月曜)午後七時から京都大學々生集會所で例會を開き、左の講演があり、其の後、懇談をし、又、大學天文臺に於いて天體觀望をします。

講演 彗星の話 教授 山本一清氏
編輯室より

時候も申し分は無し、編輯部にも人は揃つて來ましたから、これからは天界も一段と好くしたいと思ひます。今までの編輯ぶりが、餘り平易過ぎるさか、餘り難解過ぎるさか、まぢ／＼の批評を頂戴しますが、どうせ天界は一の雜誌ですから、全部を一律に同程度の内容にしてふことは出來ないでせう。編輯者としては、むしろ、兩方の要求を同時に満たすやうに懲らつて、程度の高いものも、低いものも共に載せるやうにします。雜誌は教科書の斷片でないところに面白味があるので、毎月の天象の欄を立派なものに仕上げませう。之れは言ふまでもなく土田助教授の御親切によるのです。

又、每號、何か外國の天文家たちの文を譯して載せることを怠らすにやりませう。之れは、世界の學者の文と人々に親しむためと、又、外國に於いても今何が論議されてゐるかといふことを知るために役立つと思ひます。多分、次號から質疑欄を開きます。しかし今度のは、以前の天界に掲げられたものとは全く違ひ、質問を募るに共に、又、ひろく其の解答をも一般讀者から募ります。此のやり方は我が國の讀書界には全く新しい行き方として歓迎されると思ひます。

荒木助教授の通俗講座は、多くの人々の要求もありましたから、今後も続けませう。結局は之れだけが一冊の立派な書物にまさることは、豫期しつゝ。

山本氏の海外日誌は愈々ヨーロッパの部に入りました。今後は讀者は必ず歐洲地圖を座右に置いて之れを讀んで下さい。生きた西洋地理が味はれると思ひます。

本號から雜報の欄を復活させました。今後は、主として荒木氏の盡力により、之れを大に發展させたいと思ひます。

中村要君が星二つの兵隊さんになりました。大きな體軀に、可愛らしい顔付きをして。

天文同好會

- 本 部 京都帝國大學
- 同志支部 京都市同誌社大學内
- 東京支部 京都市第一朱雀小學
- 中京支部 京都市錦小路油小路東
- 西陣支部 京都市七本松五辻下
- 三高支部 京都市第三高等學校
- 大坂支部 大坂市東區安土町三丁目船場小學
- 神戸支部 神戸市生田町四丁目森下助次郎
- 神戶支部 兵庫縣市崎町高島女學校
- 岡山支部 岡山市門田二十一
- 美作支部 岡山縣若田郡津山町大字
- 名古屋支部 名古屋市東區東山町
- 上田支部 長野縣上田高等女學校
- 長野支部 長野市長野小學
- 高水支部 長野縣下高井郡瑞穂小
- 松本支部 長野縣松本市築摩部
- 諏訪支部 長野縣上諏訪中學校
- 廣島支部 廣島市研屋町五一
- 九州支部 福岡縣大牟田市龜甲町
- 山口支部 山口高等學校化學教室
- 仙臺支部 仙臺第二高等學校
- 北海道支部 札幌測候所内
- 北海支部 札幌測候所内
- 大正十四年四月二十五日印刷(定價三十五圓)
- 大正十四年四月二十五日發行(郵稅金五圓)
- 聖護院局私書函第十一號
- (京都帝國大學天文臺内)
- 編輯兼發行者 天文同好會
- 右代表者 振替貯金大阪五六七六五番
- 發行所 京都帝國大學天文臺内
- 印刷所 京都市下京區西洞院七條南入
- 刷所 内外出版株式會社印刷部
- 警 醒
- 東京京橋銀座座屋町

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(毎月一圓二十五日發行)

純米國製
文藝家庭の常備藥



一般化粧用クリームとしての外

メンソレータム

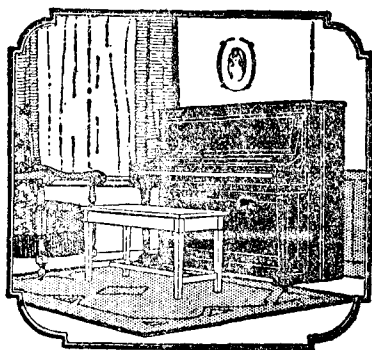
『小さい療治に
可愛い看護婦』
(和製模造品あり御注意)

特效
鼻かた、あかぎれ、しもやけ、痔、切り傷、火傷、頭痛、
しらくも、日焼け、いんきん、たむし、にきび、あせも
リウマチス、神經痛、運動痛、靴ずれ、蚊、蚤、毒蟲

改正定價

三オンス瓶入	金幣
一オンス瓶入	金壹
チユウゾ入	金壹
半オンス美罐入	金五拾錢

全國到る處の藥舖、
百貨店、化粧品店に
あり。
見本拾錢御送りの方へ郵
送す。



The
MIESSNER

ミースナーピアノ

▽米國樂器製造界の革命兒!

小型にして音調莊麗、其の實質
は高級グランドピアノに劣らず
さて學校並に家庭に歡迎せらる
濕氣多き日本向輸出品は特に入
念に製作、嚴重なる検査済にし
て拾ヶ年の保證あり。

Oak 仕上ゲ ¥895.00
Mahogany 仕上ゲ ¥925.00
荷造費運賃及調律費ハ當社負擔

社會ノアピーナズーミ國米

社會ムターレソンメ國米

店理代總東極

社會式株ズルーセ江近

四三五四五阪大座ロ替播 町幡八江近 番七五二話電